

# Weekly コラム

令和5年2月7日

〒541-0055 大阪府中央区船場中央 2-1

船場センタービル 4号館 4階

船場経済倶楽部

Tel 06-6261-8000

(NPO 法人 SKC 企業振興連盟協議会) Fax 06-6261-6539

人の輪・衆智・繁栄

## 活動方針



当団体は、異なる業種の経営者が相集い、力を合わせ、自らの研鑽と親睦を通じて、斬新な経営感覚と新たな販売促進を創造して、メンバー同士でより健全な事業所とその事業所のイメージアップを図り、地域社会に貢献できる事業所となることを目的とする。

## ワーケーション導入の 現状と課題

コロナ禍によるテレワークの普及・拡大や働き方改革を受けて、ワーケーションへの導入の期待が高まっています。

国土交通省観光庁は、2021年3月に公表した『『新たな旅のスタイル』に関する実態調査報告書』において、ワーケーション導入の現状と課題について取りまとめを行っています。

ここでは上記報告書において、企業向けに実施した郵送アンケート及び従業員向けに実施したWEBアンケートに基づきワーケーション導入の現状についてみていきましょう。

まず、ワーケーションの認知度についてみると、企業向けアンケートでは、ワーケーションを「知らない」と回答した割合は19.9%となっており、全体の約8割がワーケーションを認知していることがわかります。その一方で、就業規則等の規定の中にワーケーションを定めている企業の割合は0.4%にとどまっており、「部署に運用を任せているため全社に適用する規定やルールを導入する予定はない」と回答した割合が32.7%を占めています。

従業員向けアンケートでは、ワーケーションを「聞いたことがない・知らない」と回答した割合は20.9%となっており、全体の約8割がワーケーションを認知していることがわかります。その一方で、ワーケーションを「実施した経験がある」と回答した割合は4.3%にとどまっています。

また、ワーケーションを認知している企業、従業員を対象に、ワーケーションのイメージについて、「休暇型」、「地域課題解決型」、「合宿型」、「サテライトオフィス型」、「ブレジャー

型」の区分に分けて聞いたところ、企業の49.1%、従業員の47.4%が「休暇型」をイメージすると回答しています。

では、ワーケーション導入において、企業及び従業員のそれぞれではどのような点を課題として捉えているのでしょうか。そこで国土交通省観光庁が2021年3月に公表した『『新たな旅のスタイル』に関する実態調査報告書』において、企業向けに実施した郵送アンケート及び従業員向けに実施したWEBアンケートに基づきワーケーション導入の課題についてみていきましょう。

まず、企業向けアンケートから、「ワーケーション」導入に関する課題(複数回答)を回答割合の高い順にみると、「業種としてワーケーションが向いていない(61.7%)」、「『ワーク』と『休暇』の区切りが難しい(43.2%)」、「適用できる部署や従業員が限定的になるため、社内で不公平感が生じる(42.1%)」となっています。また、「ワーケーション」導入において、受入地域や施設に整備してほしいこと(複数回答)を回答割合の高い順にみると、「セキュリティやスピード面が確保されたWi-Fi等の通信環境(53.4%)」、「入室管理やシュレッダーなどのセキュリティ対策(36.5%)」などといった情報漏洩防止に関する回答割合が高くなっています。

次に従業員向けアンケートから、ワーケーション制度導入の懸念点(複数回答)について回答割合の高い順にみると、「業種としてテレワークが難しい(44.4%)」、「職種としてテレワークが難しい(社内で不公平感が発生する)(27.2%)」、「テレワークできる環境が整っていない(26.6%)」となっています。

このようにワーケーションを広く導入することへの課題としては、業種の特性や職種による社内での不公平感などを克服する必要があります。

記事の内容に関するお問い合わせは事務局までご連絡ください。

ウィークリーはメールでの配信も行っております。お手数ですが、「メール希望」・「配信停止希望」と件名にご入力の上、

skc-soudan@skc.ne.jp まで空メールをご送信ください。また、FAX ご不要の際は、その旨をお電話にてお申しつけください。